

ストレージアセスメント事例

富士通株式会社インフラ&ソリューション
セールス本部プリセールス第二統括部



分散ファイルサーバの見直しによる運用負荷軽減

お客様概要

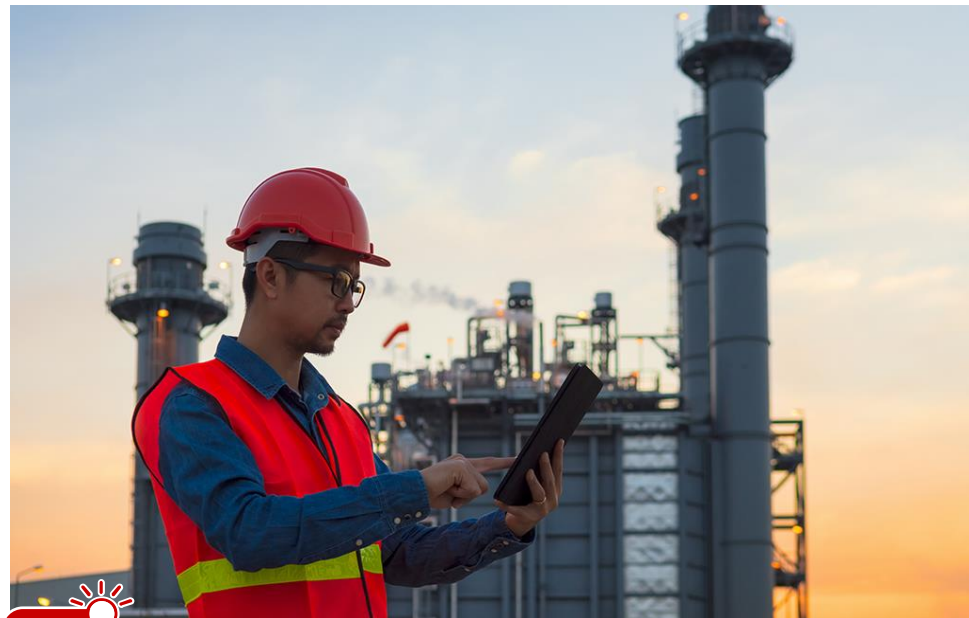
- お客様情報 : 石油製品の精製
- システム概要 : 全社ファイルサーバー

お客様の現状・課題

- インフラ環境を刷新する「中長期計画」を策定を開始したが、**インフラ構成案をシミュレーションする材料が揃わない**
- 4年毎の大規模な法定設備点検により、**センサー、画像、動画データ増大**
- 可用性を高める分散ファイルシステムを導入したが、ADサーバーの**保守・運用の制約が多く、運用管理負担が重い**

アセスメントサービスによる解決策

- インフラ資産の棚卸と稼働状況の診断、リソース増加予測を基に**次期インフラのサイジング構成を活用して役員説明が容易に**
- 点検作業ではデータをコピーして作業することが多く、**ストレージの重複排除・圧縮機能で容量増大に対応できる**
- 高度なレプリケーションで双方向同期は不要で、4時間毎の一方通行の同期で十分と分かった



POINT

現状を明確に把握し、リソースだけではなく運用面も見直しを!

お客様概要

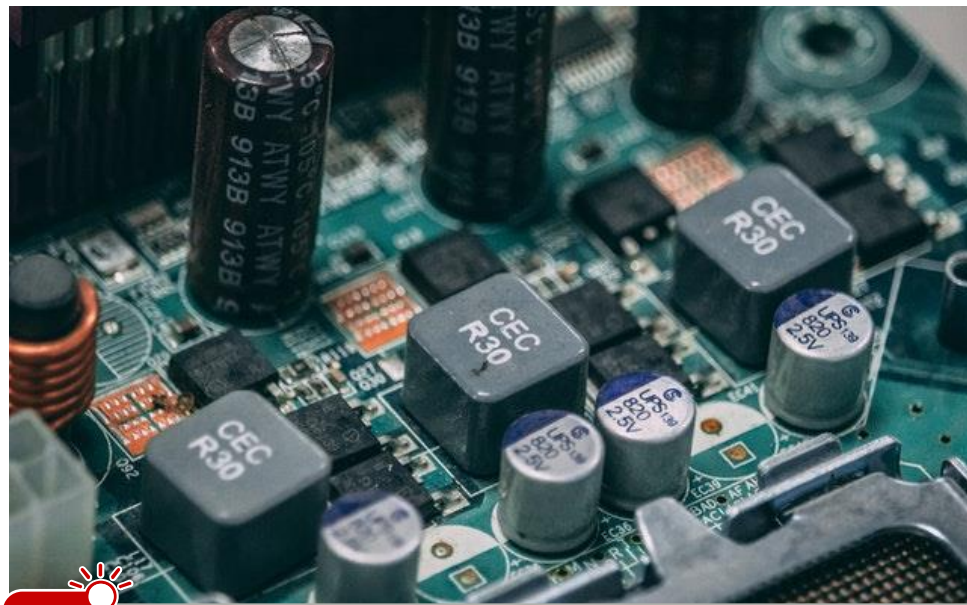
- お客様情報 : 電子部品製造
- システム概要 : 全国の事業所・拠点稼働の個人向けファイルサーバ

お客様の現状・課題

- 機器が全国11拠点34台に配備され乱立しており、**運用・保守、管理が煩雑**
- ファイルサーバの利用状況を把握し、Office365移行に向けた割当て容量やフォルダ構成・階層構造の**再設計、運用ルールを新たに策定し、統合管理したい**
- 次期ファイルサーバの**移行時の業務影響を知りたい**

アセスメントサービスによる解決策

- データセンタを含む**4拠点に集約・運用に変更し**、高性能・高可用ファイルサーバを導入、後に**設計・開発データも統合**
- アセスメント結果を次期システム導入に向けた**上申資料として活用し、スムーズな決済を行った**
- ファイルサイズ毎の割合を見える化し、業務を継続しながらファイルサーバの**移行を行う際の業務影響の判断材料**とした



集約対象となるシステムの使用状況は同時に見ること!

お客様概要

- お客様情報 : エネルギー関連製造・販売
- システム概要 : 経理・販売・在庫・購買の基幹SAP統合システム

お客様の現状・課題

- 会社合併に伴うシステムの統合が控えており、経理、販売、在庫、購買等の2倍以上の業務処理の増加が見込まれる
- 性能問題が発生することなく安定稼働できるインフラ基盤が必要 (ボトルネックとなる要因を極力排除したい)
- 現行システムの増強か新規システムの導入が必要か判断したい

アセスメントサービスによる解決策

- 現行システムの増強では将来の業務負荷の増大に伴う性能要件を満たせないため、新規にオールフラッシュストレージの導入
- 従来ストレージは業務サーバとSAPの共有ストレージであったが、高負荷で業務処理の大幅な増加が見込まれるSAPシステムは他のシステムと共有せず、専用ストレージで安定した性能を確保



SSD増設が、オールフラッシュの選定はベンダーに相談!

Thank you

